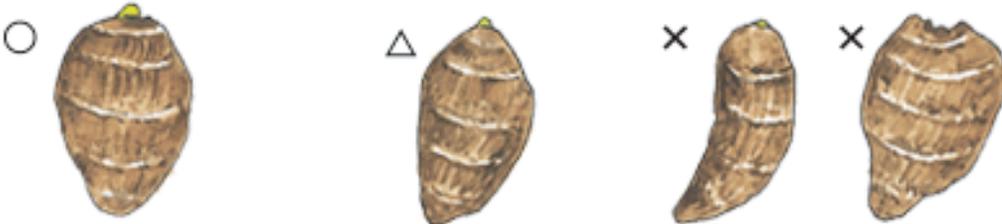


さといも栽培方法

植えつけ4月

1 種イモの選び方

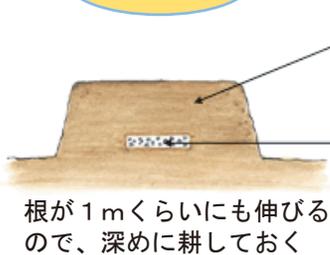


ふっくらと丸みを帯び、
中身が充実しているもの
を選ぶ。60~100g
が適当

中身が充実せず、貧弱

カンプ病にかかって芽の
部分が腐っている

2 畑の準備



根が1mくらいにも伸びる
ので、深めに耕しておく

荒起こし
苦土石灰・有機石灰80~100/m²
堆肥2~3kg/m²
元肥（心肥と全層に）
化成肥料90~100g/m²
(N・P・K=8・8・8)
マルチ栽培の場合は
化成肥料200gを全層に施す

3 植えつけ



5cm程度、覆土する

←110~120cm→

種イモは溝の中へ芽を上にして植える。
70~90cmの畝のばあいは1条植えにする

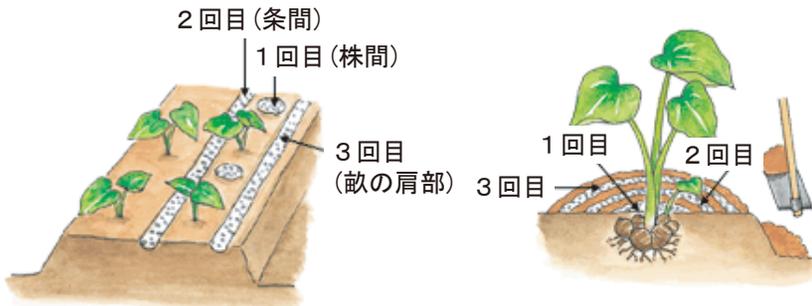
30~50cm

植えつけ後、黒色マルチ
をすると、発芽が早まり、
雑草も防げる

芽がマルチを突き上げてくるので、その部分を切って
芽を外に出す

①②は作業が早く、植え方も簡単。土のなかに深く入るので乾きにくい。③④は土のなかに数節埋まるので、上手にすればたくさん収穫できる（マルチのばあいは②）

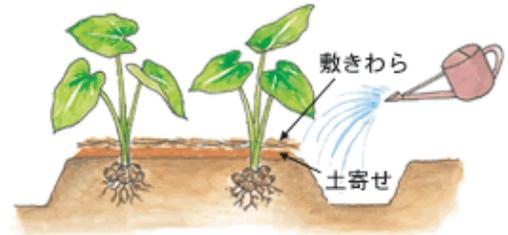
4 追肥・土寄せ



本葉2~3枚のころ1回目、
本葉5~6枚のころ2回目、
6月下旬に3回目の追肥、
化成肥料（N・P・K=8・8・8）40~50g/m²
を施す。一度に多量に施すと肥あたりするので、こまめに少量ずつ施す

追肥と同時に土寄せする

5 水やり・敷きわら



7月ころから子イモが大きくなり始める。
わらや枯れ草で乾燥を防ぎ、乾燥するときは畝間に水をやる。霜が降りる前に収穫する